

# 平成25年度和歌山県学習到達度調査結果の概要

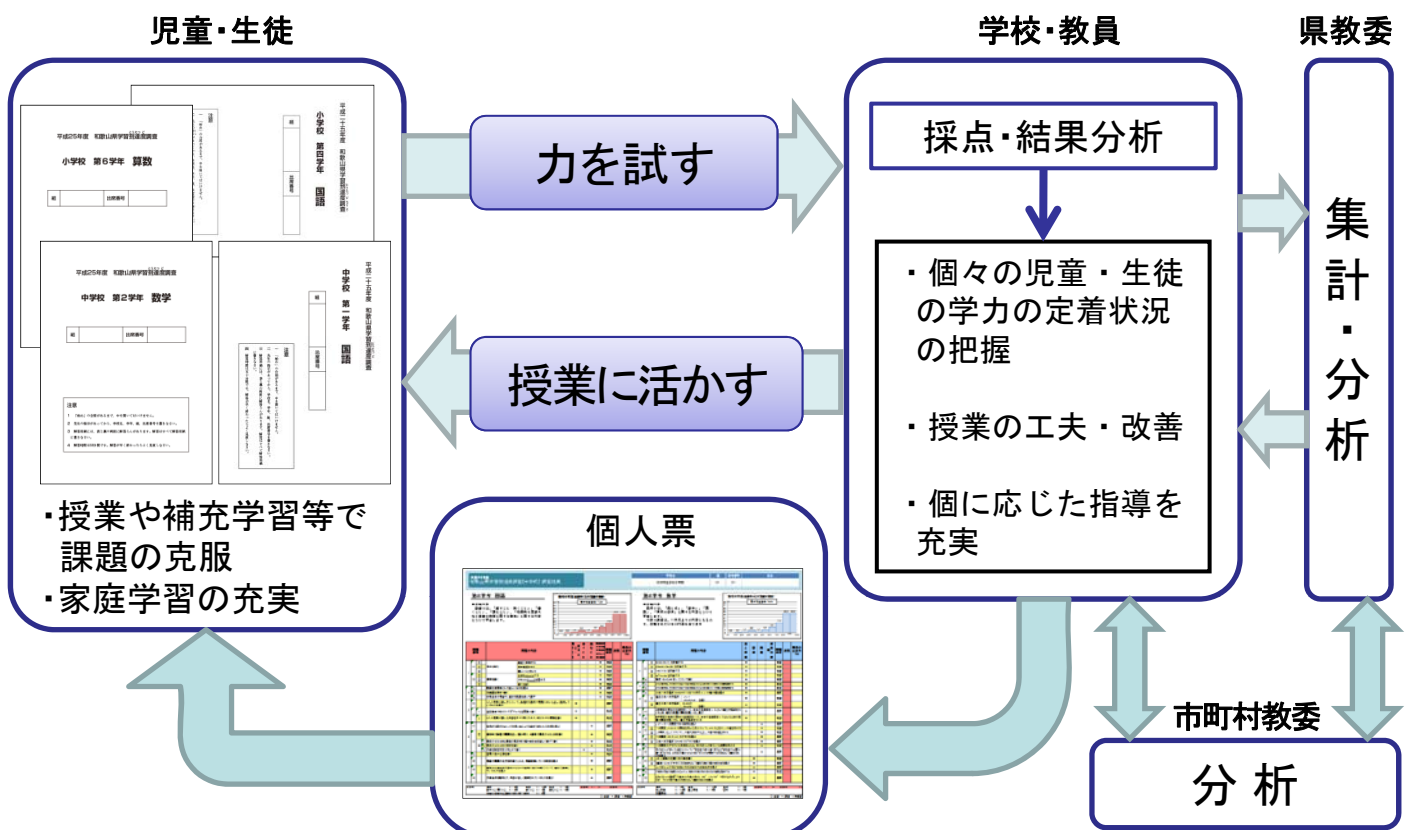
## 1 調査の概要

- (1) 調査日 平成25年12月10日(火)
- (2) 調査の目的  
児童生徒の学力の定着状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に役立てるとともに、個に応じた指導を充実させ、学習指導要領に示された当該学年の学習内容の定着を図る。
- (3) 調査内容
- ①調査教科  
小学校調査は国語・算数、中学校調査は国語・数学
- ②調査を実施した学校、児童・生徒
- ア小学校調査  
公立小学校第4・5・6学年、特別支援学校小学部第4・5・6学年
- イ中学校調査  
公立中学校第1・2学年、特別支援学校中学部第1・2学年

	学校数	学年	児童・生徒数	
			国語	算数・数学
小学校	256校	第4学年	8,307人	8,306人
		第5学年	8,440人	8,443人
		第6学年	8,932人	8,935人
中学校	134校	第1学年	8,306人	8,305人
		第2学年	8,382人	8,391人

## 和歌山県学習到達度調査の意義

## 調査を活かして学力充実！



## 2 結果の概要

## 小学校国語

○漢字の読み書きや言語に関する内容等、基礎的・基本的な内容については概ね良好であるが、文章を読み取り、記述する問題等に課題がみられる。

### 【第4学年】

□説明的な文章を読んで、目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることは、良好である。〔4〕(3) 81.3%〕

■文学的な文章を音読する際の読み方と、なぜそのように読むか理由を説明することに、課題がみられる。〔3〕(2) 37.1%〕

### 【第5学年】

□登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることは、概ね良好である。

〔3〕(4) 73.6%〕

■資料(グラフ)から読み取った数字を使って考えを書くことに、課題がみられる。

〔5〕(2) 28.0%、無解答率31.1%〕

### 【第6学年】

□想像を豊かにしながら、登場人物の心情をとらえることは、良好である。

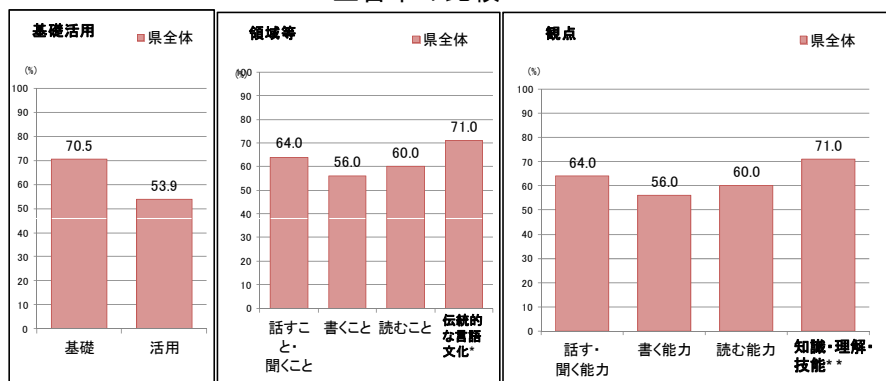
〔3〕(2) 80.8%〕

■登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめて書くことに、課題がみられる。〔3〕(3)38.0%、無解答率13.8%〕

### 正答率の比較

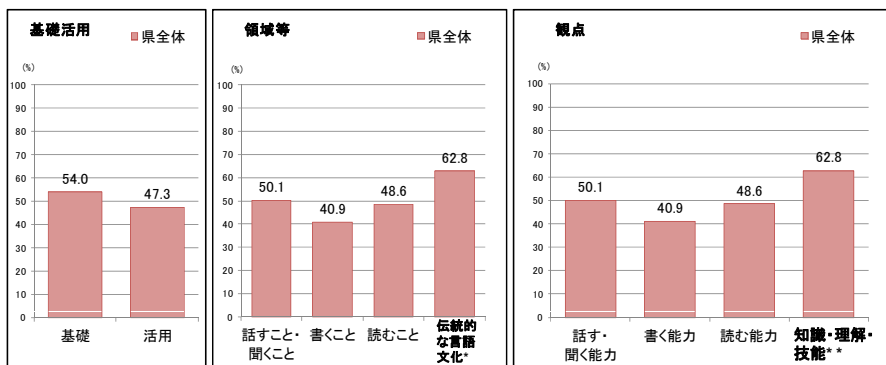
#### 第4学年

平均正答率	無解答率
65.5	6.4



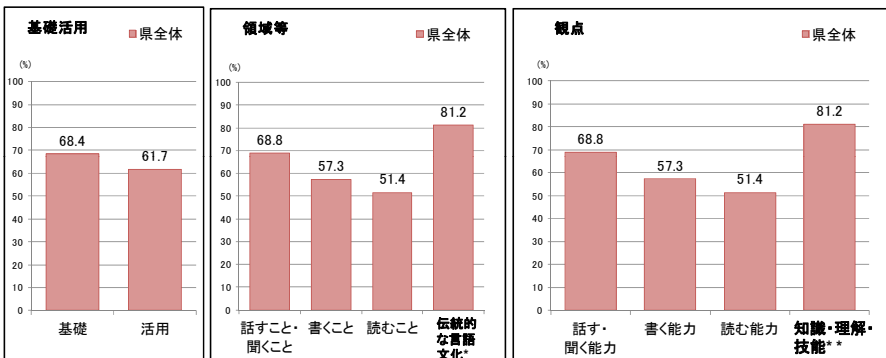
#### 第5学年

平均正答率	無解答率
52.1	9.9



#### 第6学年

平均正答率	無解答率
66.0	6.7



\* 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

\*\* 言語についての知識・理解・技能

# 小学校算数

○四則計算等、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については概ね良好であるが、答えの求め方を記述する問題等に課題がみられる。

## 【第4学年】

□数直線やグラフを読むことは、良好である。

[2]ア82.2%, イ82.7%, [11](1)91.7%, (2)84.4%

■長方形の面積を求めるために、不明の「長方形の横の長さ」を、「針金の全体の長さ」と「長方形の縦の長さ」から求めることに、課題がみられる。[9] 28.6%, 無解答率16.6%

## 【第5学年】

□合同な三角形の対応する頂点や辺について理解することは、良好である。

[9](2)①85.8%, ②85.7%

■場面と図とを関連付けて、2つの数量の関係を理解することに、課題がみられる。

[5](1)30.0%

## 【第6学年】

□基本的な分数の乗除の計算については、良好である。

[1](1)95.2%, (2)89.1%, (3)86.4%, (4)90.6%, (5)88.1%

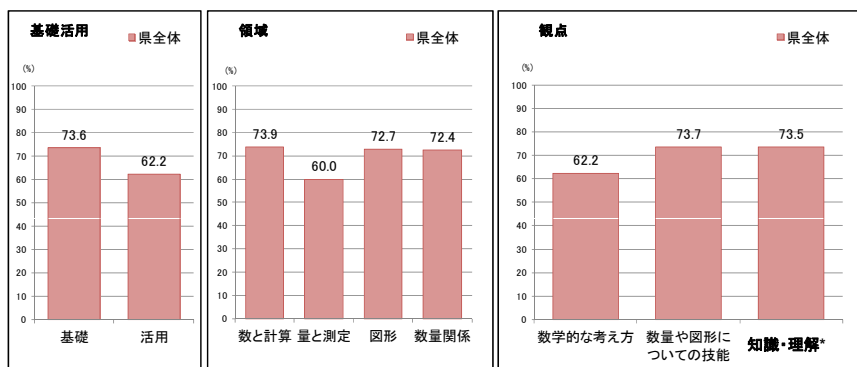
■線分の全体量と線分比から、それぞれの長さを求めることに、課題がみられる。

[9] 23.9%, [12] 40.7%

### 正答率の比較

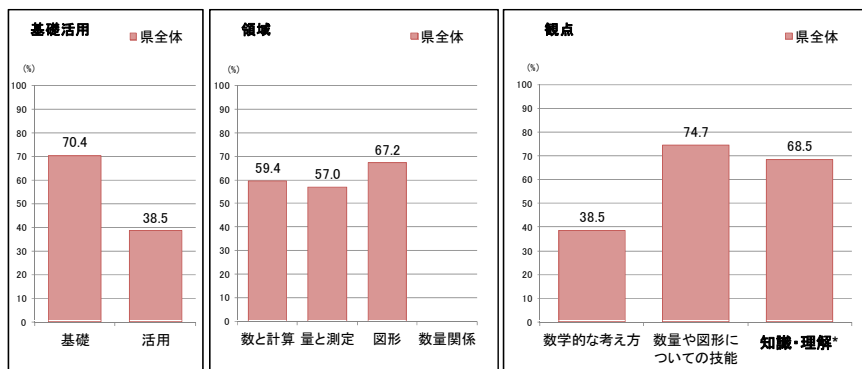
#### 第4学年

平均正答率	無解答率
70.0	2.9



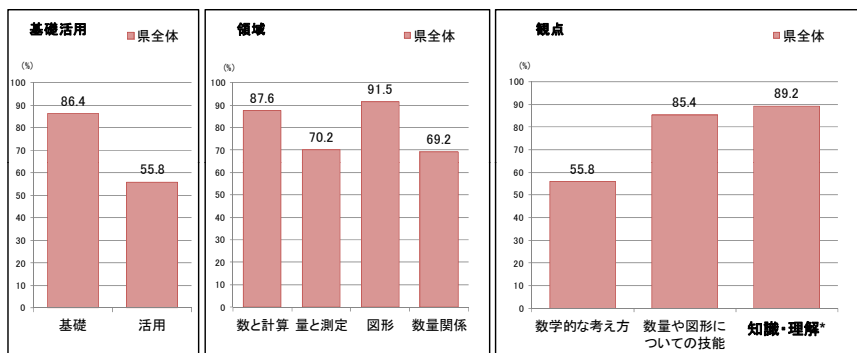
#### 第5学年

平均正答率	無解答率
60.2	6.9



#### 第6学年

平均正答率	無解答率
77.0	2.5



\*数量や図形についての知識・理解

# 中学校国語

○漢字の読みや言葉のきまり等、基礎的・基本的な内容については概ね良好であるが、文章を読み取り、記述する問題等に課題がみられる。

## 【第1学年】

□全体と部分との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話す速さを考えて話すことや、聞き取りのメモをとることは、相当数の生徒ができている。

[3] (1)93.3%, (2)89.4%

■段落の役割や、段落どうしの関係に着目して文章の構成をとらえることに、課題がみられる。

[4] (1) 36.2%

## 【第2学年】

□登場人物の行動を、描写や心情を表す語句に注意して読み取ることは、概ね良好である。

[5] (3)79.7%

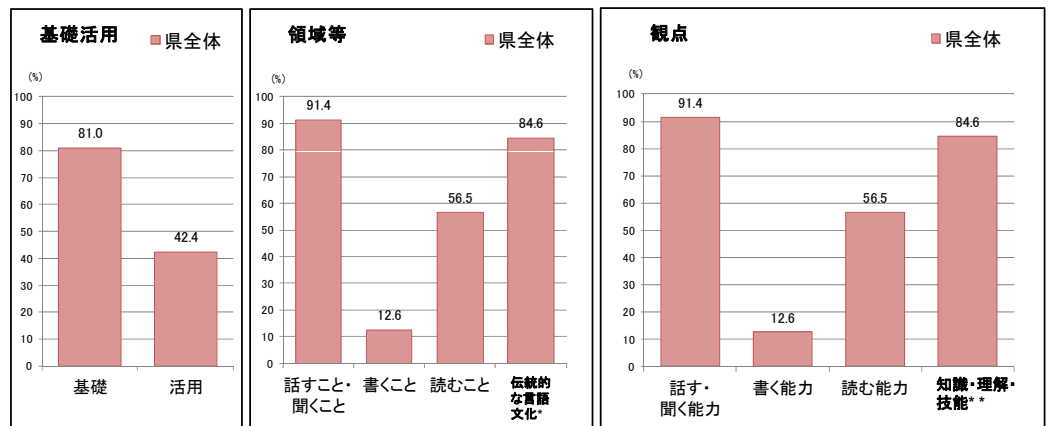
■書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえて読むことに、課題がみられる。

[4] (2)① 34.0%, 無解答率18.4%

## 正答率の比較

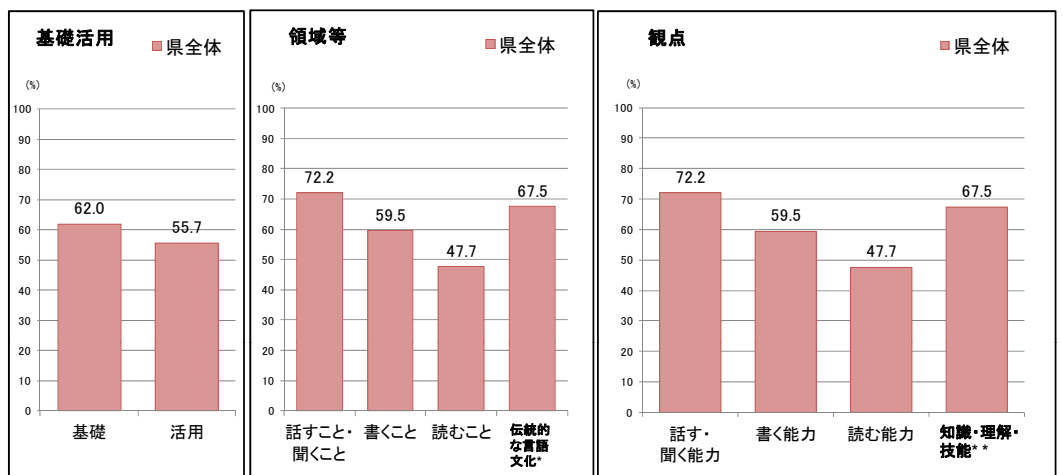
### 第1学年

平均 正答率	無解答率
70.5	6.2



### 第2学年

平均 正答率	無解答率
60.2	11.8



\* 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項  
\*\* 言語についての知識・理解・技能

# 中学校数学

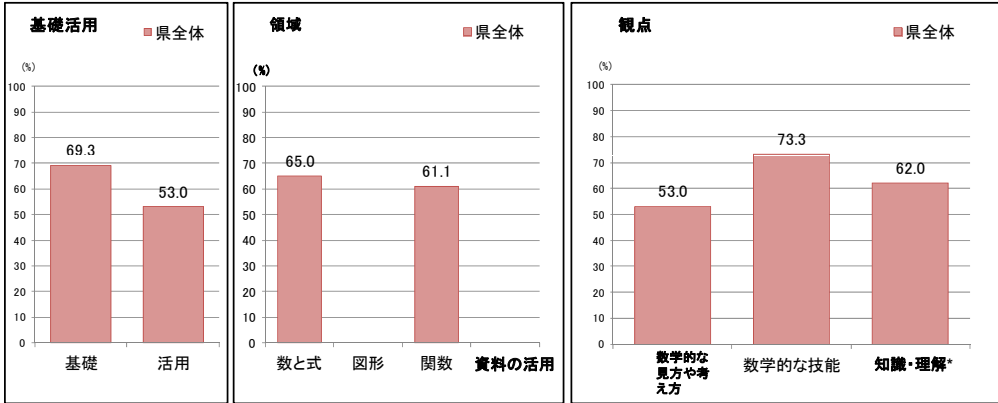
○四則計算等、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題については概ね良好であるが、答えの求め方や方法、理由を記述する問題等に課題がみられる。

- 【第1学年】
- 正の数、負の数を使って反対の性質を表すことは、相当数の生徒ができています。  
[1](1)90.7%
  - 正の数、負の数の乗法の計算については、相当数の生徒ができています。  
[1](2)②90.7%
  - 具体的な事象について、比例を利用して問題を解決する方法を説明することに、課題がみられる。  
[8](2) 23.3%, 無解答率33.7%
- 【第2学年】
- 簡単な整式の加法、減法の計算については、良好である。[1](1)①89.2%
  - 文字式を利用して、事柄が成り立つ理由を説明することに、課題がみられる。  
[2](1)10.7%, 無解答率42.7%

正答率の比較

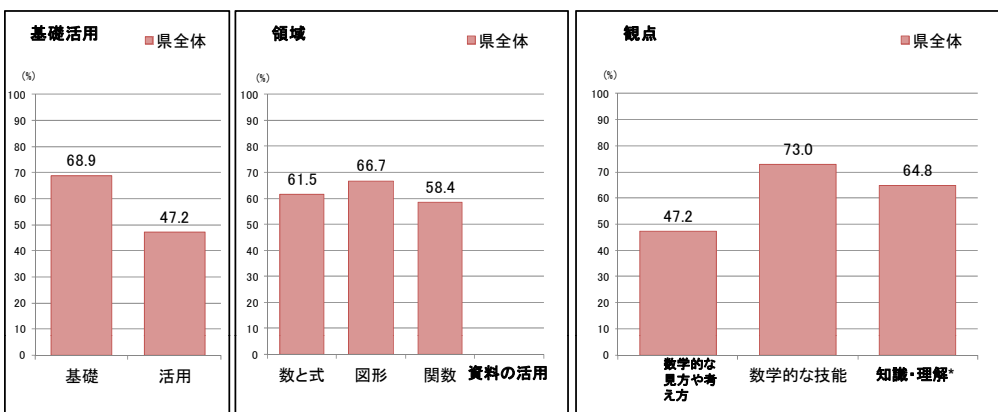
## 第1学年

平均正答率	無解答率
64.1	7.8



## 第2学年

平均正答率	無解答率
61.7	10.5



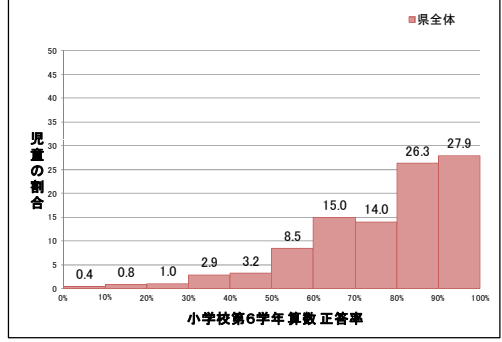
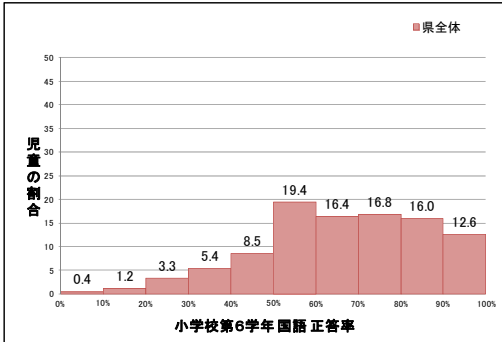
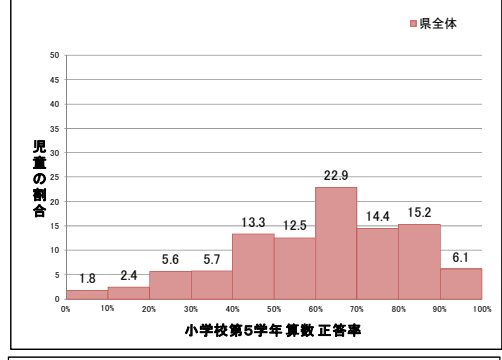
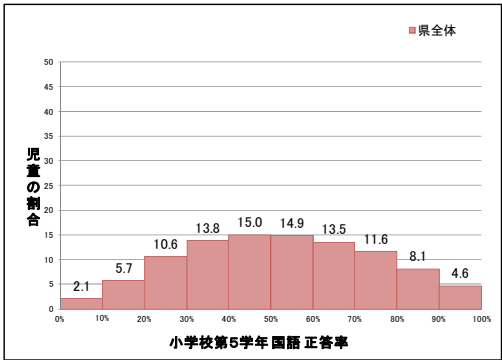
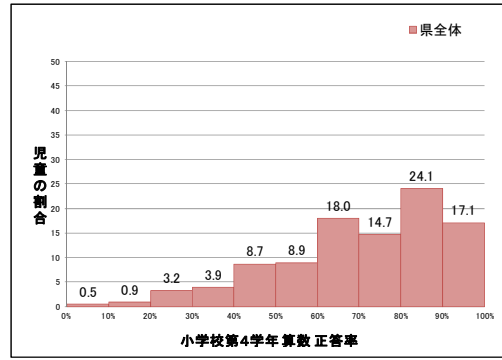
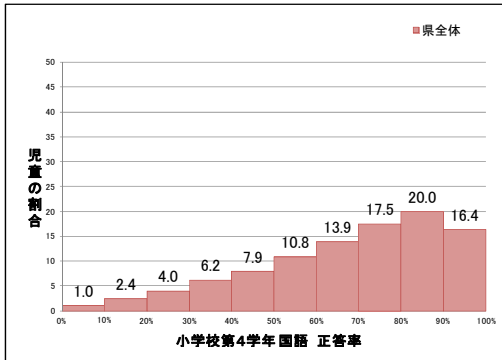
\* 数量や図形などについての知識・理解

### 3 各教科の平均正答率の分布グラフ

#### 国語

#### 小学校

#### 算数



#### 国語

#### 中学校

#### 数学

